

作業しながらの一時間の交流はあっという間に終わり、石田真理子さん（13）が「会話は難しかったけど楽しかったです」と礼を言い、通所者の見送りや握手を受けて学校に戻った。

生徒たちは後日、訪問の感想文を書いて学級だよりで紹介する。

ニコニコボックス：	2日現在累計	548,980円
-----------	--------	----------

落合益夫君 早くも二月です。春ももうすぐです、もう少しのしんぼうです。景気の方も雪どけになって欲しいものです……。それにつけてもジャイアント馬場氏の死去はビックリです。体には充分気をつけましょう。

梨木建夫君 ”

山崎勲君

山口龍二君 BOXに協力して。

布川和雄君 ボックスに協力。

安田貞夫君 山龍さんの卓話期待してます。

今井克義君 世界理解月間です。山口さんの卓話、期待しています。ついでに去年、たくさん握りをいただきました。今年も宜しく。

佐藤啓策君 山口さん卓話御苦労様です。楽しく拝聴させていただきます。

芦田義重君 大島先生の講演会は皆様のご協力により100%出席達成致しました。有難うございました。今後共宜しくお願い致します。

堀川正幸君

石丸進君 私用で早退させていただきます。よろしくお願いします。

本間建雄美君 山口さんの卓話、楽しみにしております。又、落合年度も、もう少しです。ニコニコBOXも宜しくお願い致します。

卓 話：「国際よもやま話」国際奉仕委員会 山口龍二副委員長

今なぜISO9000なのか

ISO9000のルーツ



ルーツは35年前の米軍軍事規格でありそれらがヨーロッパ各国の国防省、及び日本の防衛庁に伝わり軍事物資等の買い付け時の品質管理、品質保証として採用されていました。

日本企業は十数年前、ヨーロッパに輸出攻勢をかけ、その中で公共事業等もほとんど日本企業に落札されていました。そのためヨーロッパ各国は日本企業の締め出しをする目的でイギリスのサッチャー首相等の指導によりISO9000を取得してない企業からは輸入しない、公共事業を落札させない方針をうちだしました。

日本企業で最初にISO9000を取得したのは1989年（10年前）でありヨーロッパへ輸出する企業が優先してISO9000を取得していきました。

現在、日本企業では約5000社がすでに取得しており、新潟県では約110社が取得しています。

世界では99ヶ国で約13万社が取得しています。

ISO9000の概要

ISO9000はお客様の立場にあわせた規格であり、お客様の立場での物づくり、サービスを要求しています。これらを実行するための要求事項として大項目として20項目。具体的な項目では約150項目を要求を企業に対して行っています。

- 大きな項目
- ・企業のルールをISO9000に合わせ文書化しなさい。
 - ・お客様との約束は必ず守りなさい。
 - ・企業の生産活動での記録、証拠を文書で残しなさい。
 - ・社員全員に対して教育を行いなさい。
 - ・企業独自で内部監査を行い改善を行いなさい。

日本企業では1996年（約3年前）ではISO9000取得企業は約2000社だったものが現在は5000社に増え更に加速するとされています。

新潟県でも同じようにISO9000取得企業は3年前約30社だったものが約110社となっています。

ISO9000を取得しているのは一般の企業だけでなくホテル「加賀屋」「ニューオオタニH」「西武百貨店」等いろんな業種で取得されています。（従業員7名の畳製造会社でもISO9000を取得）

なぜISO9000なのか

企業間における取引で最近ではISO9000を取得しているか否かが、一つの企業を評価する基準になっています。これは品質重視の考え方が広まってきている点とPL法（製造物責任）の施行により更に加速していくと思われます。物づくりの時代から質をあげる時代が変わってきている。

物づくりで質をあげるのは人でありISO9000では特に人に対する教育を重視しています。

また一般のお客様を対象とする企業等でもISO9000のシステムを導入し、サービスの質をあげる活動を行っています。

日本の建設省、厚生省、通産省、防衛省等も各省の物資の調達、入札においてもISO9000を採用する方向で検討しています。

ISO9000は品質管理の国際規格であり、世界の企業と取引を行う場合のパスポートとなってきました。

ISO9000を取得しないと一流企業との取引および官公庁への入札ができなくなりつつあ